

南砺市文化芸術振興基本計画について

平成 28 年度
第 1 回地域審議会資料
文化・世界遺産課

1. 名称 「南砺市文化芸術振興基本計画」

2. 計画期間 平成 28 年 4 月～平成 33 年 3 月まで（5 年間）

3. 計画の目的

本計画を策定することにより、明確な未来のビジョンを見据えた文化政策を行うことができる。この計画が文化行政の方向性を示すことで、計画的かつ有効な施策の実施が可能となり、方向性を市民と共有し、市の文化芸術を振興することを目的とする。

4. 計画の位置づけ

本計画は「南砺市教育振興基本計画」の下位計画である。本計画の下位計画として「南砺市五箇山世界遺産マスタープラン」、「TOGA 国際芸術村構想アクションプラン」がある。

また、当市の「南砺市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「南砺市交流観光まちづくりプラン」など既存の計画、法令や県、国の計画・法令との整合性に配慮する。

5. 計画の概要

・第 I 章 計画策定にあたって

計画策定の前提となる計画の目的や計画期間、関連計画との関係などについて説明。

・第 II 章 現状と課題

南砺市の文化の現状に触れ、南砺市文化研究会・文化フォーラムを経て抽出した課題について言及する。また、市内で動き始めた文化的な新しい活動についても例をあげて示し、それら「新しい芽」を結びつけ、より強固で持続可能な活動に発展させることで、諸課題の克服を目指す。

・第 III 章 計画体系

ゆい こうりやく ネットワーク
基本方針：「結（合力）の力を結ぶ力に」

南砺が持つ「結」の力を活かし、現代型の「結」＝ネットワークに転換し、市内の文化芸術を支えることをイメージしたもの。

基本目標

- (1) 市民が創り上げる（日常的な）文化芸術の再評価
- (2) 南砺市内の文化芸術活動団体同士のネットワーク構築
- (3) 文化芸術活動のイニチアシブを執るリーダーの育成・人材発掘（担い手の発掘・育成）
- (4) 従来の地縁的な「結」に変わる「新しい結」の創生
- (5) 文化芸術の下地を支える地域コミュニティの振興（文化芸術を活用した産業の活性化）

・第 IV 章 計画の推進

計画の推進主体として市民、文化芸術活動団体、行政の 3 者を示し、それぞれの役割や推進体制について明記する。また、早期に取り組むべき事業を設定し、実行性を高める。

・第 V 章 資料編